

## 平成26年度の委員会運営方法について

### 【調査・研究テーマ案】

#### 若者の社会的孤立に係る支援施策について

(テーマ選定理由)

平成26年度版「子ども・若者白書」において、15～34歳の非労働人口のうち家事も通学もしていない若年無業者と呼ばれる若者の数は約60万人とされている。また、平成22年2月に内閣府が実施した「若者の意識に関する調査（ひきこもりに関する実態調査）」では、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」者を含む広義のひきこもりは、約70万人と推計されており、近年、急速に少子高齢化が進む社会状況においては、従来から行われてきた地域から孤立しがちなひとり暮らしの高齢者などへの支援だけでなく、こうした若者の孤立について注目し、支援を行うことが今後ますます重要となってくる。

今年度の委員会においては、本市における若者の社会的孤立について、事例の検証、現地視察などを行い、調査・研究を行う。